



新年あいさつ

下野市長 広瀬 寿雄

Administration 行政

新年あけましておめでとうござい
ます。

市民の皆様には、新たな夢と希望
を胸に、良き年をお迎えのことと心
からお慶び申し上げます。

私は、昨年7月の市長選挙におき
まして、多くの皆様の負託をいただ
き、3期目の下野市政の舵取り役を
担わせていただくことになりました。

市長として市民の皆様に、新年の
ご挨拶ができますことを光栄に思う
とともに、果たすべき役割と責任の
重さを深く自覚し、市制施行10年目
を迎えた下野市のさらなる発展に向
けて全力を傾注すべく、決意を新た
にしております。

さて、昨年を振り返りますと、全
国各地で自然災害が猛威を振るった
一年でありました。本県では2月上
旬の大雪や8月の突風・竜巻により、
農業施設や農作物をはじめ、家屋等
に大きな被害が発生したところであ
ります。また、広島市をはじめ全国
各地で発生した土砂災害や御嶽山の
噴火によって、多くの尊い命が犠牲
になられました。改めて、有事に備
える防災・減災対策の重要性を痛感
したところであります。

さらに、少子高齢化が急速に進展
する中において、日本創成会議・人
口減少問題検討分科会によって公表
された、約半数の896自治体が将
来、消滅可能性があるとした試算は
全国に衝撃を与え、人口減少問題に
対する取組は、すべての自治体の共

通の課題となったところであります。

このような中で、昨年の下野市政
におきましては、市民の皆様と議会・
行政による「協働のまちづくり」を
推進する自治基本条例を施行し、条
例の内容を市内全戸に配布して周知
を図るとともに、条例に定められた
「子どもの参画」に基づき、行政各
分野の計画策定において、子どもた
ちの意見を積極的に取り入れました。
また、人口減少、高齢化が進展す
る中で、最適な公共施設の配置等を
実現するため、「公共施設マネジメ
ント基本方針」の策定に着手したほ
か、下野市の子どもたちを地域の宝
として育てるための「子ども・子育
て支援事業計画」、本市産業の現状
から導き出された課題の解決に向け
て、産業振興の方向性と具体的な施
策を示す「産業振興計画」等、各分
野の計画策定に取り組みました。

また、本市は平成27年度をもって
合併特例期限が終了し、平成28年度
から5年間にわたり地方交付税が段
階的に削減されること等から、これ
まで以上に行政改革に取り組むため、
「第3次行政改革大綱」を策定する
とともに、市民の満足度がより高い
行政サービスの提供と多様化する新
たな行政課題に即応するため行政組
織の見直しを行いました。

さらに、下野市の未来を担う中学
生を被爆地である広島市に派遣し、
核兵器の恐ろしさ、平和の尊さ、命
の大切さ等を知る「非核平和推進事

業」に取り組んできたところであり
ます。

新年を迎え、平成28年度からの本
市のまちづくりの指針となる「第2
次下野市総合計画」や男女共同参画
社会の実現を目指すための「男女共
同参画推進条例」の制定等に引き続
き取り組むほか、大松山運動公園拡
張整備や（仮称）三王山公園の整備、
（仮称）薬師寺地域交流センターの
建設など、「しもつけ重点戦略」に
位置付けられた事業を着実に推進し
てまいります。

少子高齢化の急速な進展と人口減
少社会への対応は、日本の将来を左
右する国家的な問題であり、本市に
とって大きな課題であります。

私は、本市の持つ豊かな地域資源
やコンパクトシティとしての潜在力
などを十分に活用しながら、市民力
や地域力を高めることにより、魅力
ある地域づくりに取り組み、誰もが
安心して暮らすことのできる「住み
よさ県内ナンバー1 下野」の実現
を目指します。

結びに、市民の皆様にとりまして、
本年がより実りのある飛躍の年とな
りますよう心から祈念申し上げます
とともに、今後とも、より一層のご
支援、ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。新年のご挨拶とさ
せていただきます。